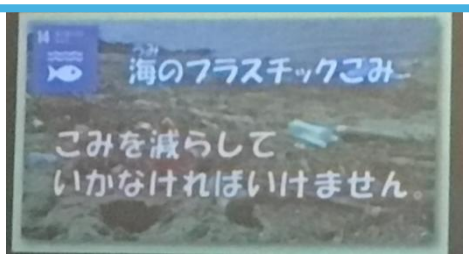
くまっこ

豊中市立熊野田小学校
令和８年（2026年）10月30日
学校便り　11月号

４年生環境学習　出前授業で学んだ『ごみ問題』

４年生が、豊中市の環境学習出前授業で、ごみ問題や環境保全について学びました。
授業では、豊中市のごみが「可燃ごみ」「不燃ごみ」「資源ごみ」などに分別されていることや、市内で最も多いごみは可燃ごみであることを学びました。
また、ごみを燃やした後の灰は、大阪湾の「フェニックス（大阪湾広域臨海環境整備センター）」の埋立処分場で処分されていますが、この処分場もあと10年ほどで満杯になる見込みであり、ごみの減量化が大きな課題となっていることを知りました。

【SDGs（持続可能な開発目標）の視点から】
ごみ問題との関わりについて学習しました。
- 12 つくる責任 つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう

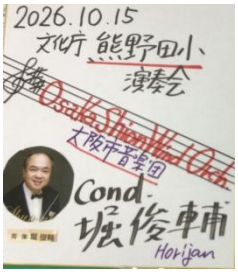


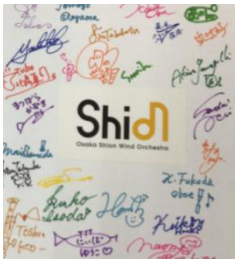
特に、世界では年間約800万トンものプラスチックごみが海へ流出しており、これはジャンボジェット機約５万機分に相当する量であることを知り、子どもたちは大変驚いていました。
２時間目には、ごみ収集車の仕組みや収集の仕事についても学びました。ごみは正しく分別されていないとリサイクルができないだけでなく、収集や処理に大きな支障をきたします。
また、近年、クリーンランドでは、リチウムイオン電池やスプレー缶などが原因と考えられる火災が増加していることも紹介されました。



ご家庭でも、ごみの減量や正しい分別について話題にしていただければ幸いです。特に、スプレー缶は必ず中身を使い切り、穴は開けずに決められた方法で排出することが大切です。一人一人の心掛けが、ごみの削減や資源の有効活用につながり、未来の環境を守る大きな力となります。４年生は今回の学習を通して、「自分たちにできることは何か」を考えるよい機会となりました。これからも学校生活や家庭生活の中で、環境に優しい行動を実践していってほしいと思います。

文化庁巡回公演　♫～芸術鑑賞会～♫





文化庁の巡回公演事業による本公演を体育館で実施しました。当日は低学年と高学年に分かれて鑑賞し、子どもたちにとって、普段なかなか触れることのできない本格的な舞台芸術に親しむ貴重な機会となりました。プロの演奏家や出演者による迫力あふれるパフォーマンスが始まると、会場は一気に舞台の世界に引き込まれました。
子どもたちは耳を澄ませて鑑賞し、場面に応じて体を揺らしたり、手拍子や大きな拍手を送ったりしながら、芸術文化の魅力を存分に味わっていました。
また、公演を通して、表現することの楽しさや、仲間と協力して一つのものを創り上げることの素晴らしさに触れることができました。
今回の公演で得た感動や学びを、これからの学校生活やさまざまな表現活動に生かしてくれることを期待しています。





3年生 昆虫館出前授業

3年生は、昆虫館から講師の先生をお招きし、昆虫について学ぶ出前授業を行いました。今回講師を務めてくださったのは、昆虫図鑑の編集にも携わり、カメムシの研究を専門とされている先生です。（本校教職員の家族の方です。）

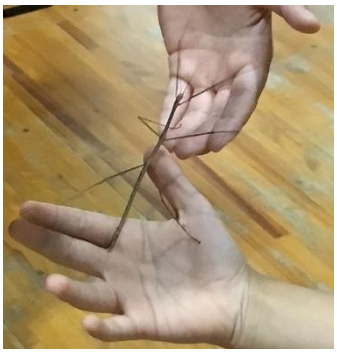
前半は、昆虫の体のつくりや成長の仕方、生態について詳しく教えていただきました。昆虫は種類が非常に多く、図鑑にすべてを載せることができないほどであることや、昆虫の体は「頭・胸・腹」の3つの部分からできていて、基本的に足が6本あることなどを学びました。

また、チョウの幼虫が鳥のふんに似た姿に擬態して身を守ることや、脱皮を繰り返して成長すること、さなぎを経て成虫になる「完全変態」と、バッタやトンボのように成虫へと成長する「不完全変態」の違いについても興味深く聞くことができました。

後半は、さまざまな昆虫を実際に手に取って観察しました。ナナフシやクワガタなどの昆虫に触れながら、体のつくりや特徴を間近で見ることができました。子どもたちは、「思ったより軽い！」「本当に木の枝みたい！」など、驚きの声を上げながら夢中で観察していました。

授業を通して、昆虫の不思議や生き物の多様性について学ぶとともに、実際に見て、触れて、感じる貴重な体験となりました。今回学んだことをきっかけに、身近な自然や生き物への関心がさらに高まることを期待します。





人権参観へのご参観ありがとうございました

10月23日、人権参観を実施しました。ご多用の中、多くの保護者の皆様にご来校いただき、子どもたちの学習の様子を参観していただきました。温かく見守っていただきましたことに、心より感謝申し上げます。

本校では、「自尊感情を高める中で、互いの人権を尊重し合う実践力をもった子どもを育てる」ことを人権教育の目標としています。

今回の参観では、各学年の発達段階に応じて、「自分らしさ」や「違いを認め合うこと」、「相手の立場に立って考えること」などをテーマに学習を行いました。

子どもたちは友達の考えに耳を傾けながら、自分の思いや考えを伝え、人権について主体的に考える姿を見せていました。

人権を大切にする心は、一時間の授業だけで育つものではありません。日々の学校生活の中で、自分を大切にするとともに、友達の気持ちや考えを尊重し、互いを認め合う経験を積み重ねることが大切です。今回の学習が、ご家庭でも人権について考えたり話し合ったりするきっかけになれば幸いです。

今後も学校と家庭が連携しながら、子どもたち一人ひとりが安心して過ごし、お互いを大切にできる学校づくりを進めてまいります。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教職員の配置のお知らせ

10月26日より、支援教育サポーターに、個人情報保護のため氏名割愛します が配置されました。主に児童の学習活動や学校生活の支援にあたり、子どもたちがより安心して学校生活を送ることができるようサポートしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

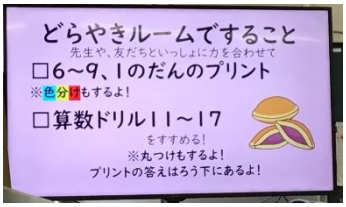
～マイプラン学習～「自分で決めて、自分で学ぶ」かけ算の学習

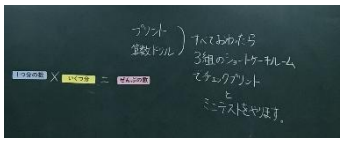
２年生では、かけ算の学習において「マイプラン学習（単元内自由進度学習）」に取り組んでいます。子どもたちは、自分の理解度や学習状況に応じて、学習内容や進め方を選びながら学習を進めています。

実物を使ってかけ算の意味を考えたり、九九の神経衰弱や九九ビンゴに取り組んだり、友達と教え合ったり、発展問題に挑戦したりするなど、一人ひとりが自分に合った方法で主体的に学習する姿が見られます。学び方を自ら選択することで理解が深まり、「できた」「わかった」という達成感にもつながっています。

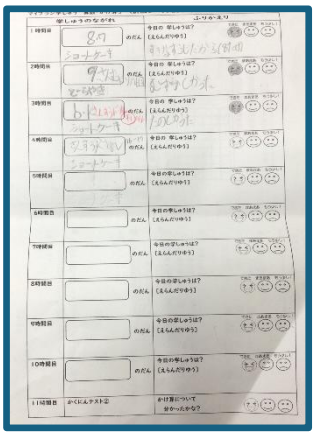
今後も、一人ひとりの学びを大切にしながら、自ら考え、粘り強く取り組む力を育んでいきたいと考えています。

【各教室で行う内容】





【計画表】



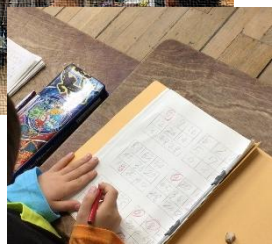
【九九でお店屋さん＆お買い物】





【九九ビンゴ】





【九九の神経衰弱】



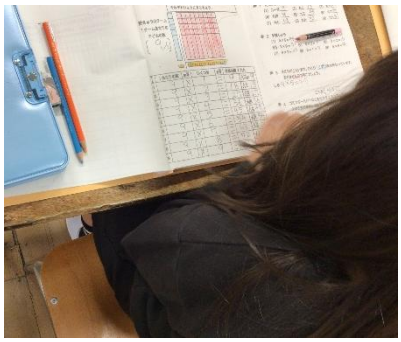
【九九カード取ゲーム】



【先生と一緒に考えるコーナー】



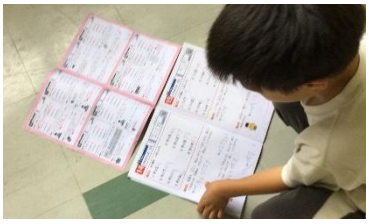
【一人でじっくり取り組む】



【友達と一緒に取り組む】



【答え合わせ】



豊中市立熊野田小学校

マイプラン学習

自立した学び手を目指して

マイプラン学習の学習の取り組み方については、本校ホームページに掲載していますので、ご確認ください。

学校で働く人のひみつを見つけよう！

１年生が生活科の学習で、「学校で働く人」について調べたことを発表しました。
子どもたちは、専科の先生や給食従事員さん、用務員さん、事務職員さん、警備員さんなど、学校で働くさまざまな人にインタビューを行い、仕事の内容や工夫、やりがいなどを調べてきました。発表では、写真や絵を使いながら分かりやすく伝えようとする姿が見られ、聞いている友達も興味深そうに耳を傾けていました。学習を通して、学校にはたくさんの人が関わり、それぞれが大切な役割を担っていることに気付くことができました。






児童会・委員会活動より　～工夫が光っています～（一部紹介）

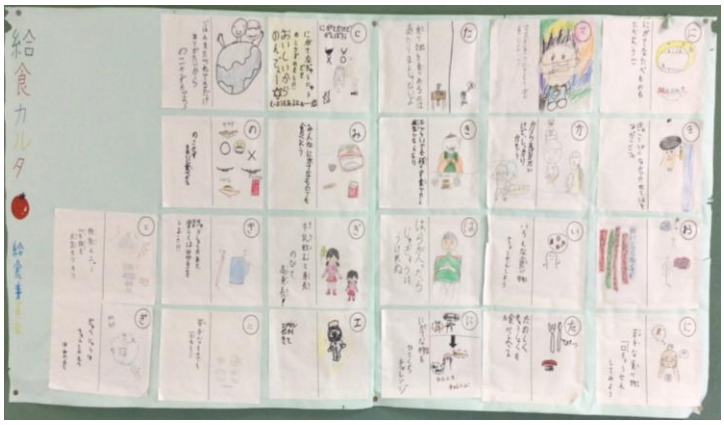


☆児童会☆

くまっ子児童会コーナーは、２号館１階の職員室前廊下にあります。そこには、「学校をもっとよくしたい」という子どもたちの願いや提案が寄せられています。児童会では、寄せられた意見をもとに、よりよい学校生活の実現に向けて話し合いを行い、解決方法や取組について考えています。一人ひとりの声を大切にしながら、みんなが楽しく安心して過ごせる学校づくりを進めています。

☆給食委員会☆

給食委員会では、給食への関心を高めてもらおうと、給食にちなんだ「かるた」を作成し、校内の廊下に掲示しています。
かるたには、食材や栄養、給食のマナーなどについて楽しく学べる内容が盛り込まれており、通りかかった子どもたちが足を止めて読んでいる姿も見られます。給食委員の子どもたちは、みんなが給食に親しみをもち、食について考えるきっかけになるよう工夫しながら作成しました。これからも委員会活動を通して、学校生活をより豊かにする取組を進めてくれることでしょう。



☆放送委員会☆



最近、お昼の放送に耳を傾ける子どもたちの姿が増えています。それは、放送委員会のくまっ子たちが、みんなが楽しめる放送になるよう工夫を重ねているからです。これまでは音楽や学校の予定を伝える放送が中心でしたが、最近では世の中の出来事を紹介するニュースコーナーや、「知っトク情報」のクイズなど、内容がさらに充実しています。（教職員がへぇー！と思う内容もあります。）放送委員の子どもたちは、「どうすればみんなに楽しんでもらえるか」を考えながら、日々の放送づくりに取り組んでいます。きっと各教室でも、子どもたちが耳を澄ませて放送に聞き入っていることでしょう。これからも、放送委員会ならではのアイデアあふれる放送が学校生活をより楽しくしてくれることを期待しています。

雨にも負けず 地域の笑顔が集う 第51回公民分館文化祭

10月25日、第51回公民分館文化祭が開催されました。今年は前日準備から当日の朝にかけて雨が降るあいにくの天候となり、運営にはさまざまな工夫が求められました。そのため、各種模擬店は規模を縮小し、遊びコーナーは急遽スタンプラリーに変更して行われました。しかし、開場する頃には雨も上がり、多くの地域の皆さんが会場を訪れました。

午前中のステージ発表では、幼稚園・小学校・中学校・高校の子どもたちが、日頃の学習や活動の成果を発表しました。それぞれの発表からは、これまで積み重ねてきた練習の成果が感じられ、会場から温かい拍手が送られていました。

また、会場内では一日を通して作品展が開かれ、地域の皆さんや子どもたちの力作が展示されました。来場者は足を止めて作品を鑑賞し、地域の文化や創作活動に親しんでいました。

午後には「みんなでSHOWタイム」が行われ、地域の方々による歌や演奏などのステージ発表が披露されました。会場は大いに盛り上がり、多くの方が交流を深めながら、地域のつながりを感じる温かなひとときを過ごしていました。

文化祭は、地域の皆さんのご尽力によって支えられています。準備や運営に携わってくださった皆様に、心より感謝申し上げます。

多くの来場者でにぎわった作品展示コーナー





本校1年生の作品も展示





熊野田小学校出身のクラリネット奏者リサイタル案内



わくわくスタンプラリー





各種模擬店も大行列！！



熊野田幼稚園・保育園、熊野田小学校・第十五中学校、桜塚高校生によるステージ発表









特殊詐欺防止啓発劇





特殊詐欺被害を防ぐために

大阪府警による啓発劇では、特殊詐欺の被害にあわないためのポイントが紹介されました。被害を防ぐために最も大切なことは、犯人からの電話に出ないことです。固定電話は常に留守番電話に設定し、防犯機能付き電話機を活用することで、不審な電話への対応を減らすことができます。

また、携帯電話についても、国際電話や知らない番号からの着信には安易に応答しないことが重要です。各通信事業者が提供している迷惑電話対策サービスや、迷惑電話を自動で判別・警告してくれるアプリを活用することも有効な対策として紹介されました。

さらに、「お金の話が出たときは一人で判断しない」「家族や警察に相談する」「『今すぐ』と急がせる電話は疑う」といった心構えも大切です。

特殊詐欺は手口が巧妙化しており、誰もが被害にあう可能性があります。ご家庭でも、防犯対策や緊急時の連絡方法について話し合う機会にしていただければと思います。

『電話に出ない・慌てない・一人で決めない』

を合言葉に、特殊詐欺を未然に防ぎましょう。